

英語入門

指導目標	英語コミュニケーションへの橋渡しとして、中学前半の英語の基礎的な学習内容を理解する。演習を中心として、文法事項の定着を図る。文法項目に基づいたリスニング問題にも取り組む。
------	---

教材	教材：英語入門（本校オリジナルテキスト） レポート 学習ノート（英語入門の学習方法）	レポート	全6回
		面接指導	必要時間数：4時間
		放送	全40回（テレビ WEB視聴可）
		到達度チェック・試験	年度末試験（1月）

単位	2単位
評価	<p>【①知識・技能】 レポート各回の学習内容・成果、および年度末試験での成果にもとづき評価します。</p> <p>【②思考・判断・表現】 レポート各回の学習内容・成果、年度末試験での成果にもとづき評価します。</p> <p>【③主体的に学習に取り組む態度】 レポート各回の学習内容・成果、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。</p>

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1	スクーリングでは<要点のまとめ>と確認問題のみを扱います。STEP問題、STEP UP問題、リスニング問題は各自で答えをレポートに入力するので、スクーリングでは扱いません。	第1回	カタカナ英語から始めよう ■日本語になった英語を使って注文できる	第1回 オンライン学習サポート動画 ・英語入門の学習の仕方 ・第1回レポート範囲 配信	
			2	①～③ <第1講座 be動詞> テキストP.2～P.3の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。 ・be動詞(am, is, are)の形と意味を理解する。	第2回	感想はひと言できめる！ ■見たり聞いたりしたことについて、感想をひとこと言える		
			3	④ テキストP.2～P.3の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。 ・be動詞(am, is, are)の形と意味を理解する。	第3回	人やものについて言ってみよう ■基本的な形容詞を知る		
			4	⑤ 肯定文と否定文を作成できるようになる。 ・疑問文を作成し、答えるスキルを身につける。	第4回	文房具セールがあるよ！ ■ものを数えることができる		
5			1	⑥ 簡単な会話の中でbe動詞を使えるようになる。口語英語の実践を行う。自己紹介（例：I am from Japan.）や天気や気分の表現（例：It is sunny. / I am tired.）。	第5回	元気になる朝ごはん ■数えられる名詞、数えられない名詞があることを知る		
			2	⑦ <第2講座 一般動詞> テキストP.8～P.9の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。 ・一般動詞とは何か（例：run, eat, play）。 ・主語による動詞の変化（現在形、三単現のs）。	第6回	気に入っていることを伝えよう ■yourを使って相手をほめることができる		
			3	⑧ 肯定文の構造（例：主語 + 動詞 + 目的語）。 ・否定文の構造（例：主語 + do/does not + 動詞）。	第7回	気持ちやからだの調子を伝えよう ■I am, You areを使って、気持ちや身体の調子を言える		
			4	⑨ 疑問文の構造（例：Do/Does + 主語 + 動詞 + ?） ・疑問文に対する応答方法（例：Yes, I do. / No, he doesn't.）。	第8回	友だちをつくろう ■I am, You areを使って初対面の人と紹介しあえることができる		
6	第1回 6/10	第1講座 be動詞 【リスニング】 I am～. You are～の文 This is ～. What is ～の文	1	⑩ 簡単な会話の中で一般動詞を使えるようになる。質問を交えた会話（例：What do you do after school?）、自己紹介や日常行動の説明。	第9回	質問して、お近づきになろう！ ■Are you ...? Is he...?などを使って質問ができる		
			2	⑪ 疑問文に対する応答方法（例：Yes, I do. / No, he doesn't.）。	第10回	買い物しよう ■this/theseを使って、近くにあるものについて話せる	第2回 オンライン学習サポート動画 第2回レポート範囲 配信	
			3	⑫ 簡単な会話の中で一般動詞を使えるようになる。質問を交えた会話（例：What do you do after school?）、自己紹介や日常行動の説明。	第11回	少し詳しく言ってみよう ■have/go/likeなどを使って、自分のことを話せる		
			4	⑬ 肯定文の構造（例：主語 + 動詞 + 目的語）。 ・否定文の構造（例：主語 + do/does not + 動詞）。	第12回	少し詳しく聞いてみよう ■Do you...?を使って、相手について質問することができる		
	第2回 7/5	第2講座 一般動詞 【リスニング】 He is ～. Who～is?の文 一般動詞（1・2人称）	1	⑭ テキストP.14-15の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。 ・名詞の定義（人、場所、物、概念）。	第13回	居場所を聞こう ■whereを使って、人の居場所を聞くことができる		
			2	⑮ 単数形と複数形の規則（例：cat → cats）。				

7			<ul style="list-style-type: none"> ・代名詞の役割（名詞を置き換える）。 ・主格代名詞の使い方（例: He is a doctor.）。 ・所有格代名詞を使った文の作成（例: This is my book.）。 ・目的格代名詞を使った文の作成（例: She called him.）。 ・所有格と所有代名詞の違い。（書き換えができる。） 	<p>3</p> <p>4</p> <p>第14回 人やものの外見や特徴を伝えよう ■look,smell,feelなどを使って、人やものの外見や特徴について言える</p> <p>第15回 どこに何があるか伝えよう ■There is a/an... There are ...を使って何がどこにあるか言える</p>		
8			<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>第16回 何してる？ ■いま何をしているか聞ける</p> <p>第17回 してもいいこと/いけないこと ■canを使って、してもいいことを言える</p> <p>第18回 あなたのお気に入り？ ■whatを使って、お気に入りのものについて質問できる</p> <p>第19回 ライフスタイルは人それぞれ whatを使って、相手の日常について質問できる</p>	第3回 オンライン学習サポート動画 第3回レポート範囲 配信	
9			<p>⑪～⑭</p> <p><第4講座 疑問詞で始まる疑問文></p> <p>1 テキストP20-21の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。</p> <p>2 ・疑問詞（what, who, where, when, why, how等）の基本的な意味と使い方を理解する。</p> <p>3 ・疑問詞を使わないYes/No疑問文との違い。</p> <p>4 ・What, Who, Whose, Where, How, When, What timeを使った疑問文を作れるようになる。</p> <p>・疑問詞を使った会話文を作成し、実践的に使う。複数の疑問詞を用いた質問練習（例: What time do you go to bed?）。Howを使った質問で交通手段を尋ねる練習。</p>	<p>第20回 ■英語でヘルプ大作戦！ 動詞で始まる文を使って指示ができる</p> <p>第21回 今は昔 ■was/wereを使って、過去の状況について言うことができる</p> <p>第22回 最近の出来事を語ろう ■不規則に変化する動詞を使って、したことや起こったことを言える</p> <p>第23回 最近の出来事を語ろう ■<動詞+-ed>の形を使って、過去の出来事を語る言える</p>		中間到達度チェックは実施しない。
10	第3講座 名詞、代名詞	第3回 10/5	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>第24回 最近の出来事について聞いてみよう ■Did you ...?の形を使って、過去の出来事について質問できる</p> <p>第25回 日常の動作について話そう ■get on, get offなどの二語動詞を使って、日常の動作を言える</p> <p>第26回 もっと教えて！ ■what,where,whenを使って、過去の出来事の詳細を質問できる</p> <p>第27回 いくつ？ ■How many...?を使って、人やものの数をたずねることができる</p>	第4回 オンライン学習サポート動画 第4回レポート範囲 配信	
11	第4講座 疑問詞で始まる疑問文	第4回 11/10	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>第28回 してもいい？と聞いてみよう ■May I...?を使って許可を求めることができる</p> <p>第29回 親切な申し出をしよう ■Shall I...?を使って、親切な申し出をすることができる</p> <p>第30回 お祝い会の計画 ■「だれに」「何を」あげたり見せたりすると言言することができる</p>	第5回 オンライン学習サポート動画 第5回レポート範囲 配信	
12	第5講座 be動詞の過去形	第5回 12/5	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>第31回 アドバイスをしよう ■You should,,を使って、アドバイスをすることができる</p> <p>第32回 気に入ってくれるといいな ■I hopeのあとに文を続けて、自分の願いを言える</p> <p>第33回 自分の意見を言おう ■I thinkのあとに文を続けて、自分の意見や考えを言える</p> <p>第34回 イベントに参加しよう！ ■want toを使って、したいことが言える</p>		

1		<p>⑰～⑳</p> <p><第6講座 be動詞の過去形></p> <p>1 P32-33の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。</p> <p>2 ・be動詞の過去形 (was, were) の役割と使い方を理解する。</p> <p>3 ・be動詞の過去形 (was, were) とその意味 (例: ～だった、～にいた)。</p> <p>4 ・主語による使い分け: 単数 (I, he, she, it → was) 複数 (you, we, they → were)。</p> <p>5 ・肯定文の構造: 主語 + was/were + 補語 (例: I was happy. They were at school.)。</p>	<p>第35回 レストランで注文しよう</p> <p>■「～された」という表現を使って、料理について言える</p> <p>第36回 物事について説明しよう</p> <p>■「～された」という表現を使って、物事について説明できる</p> <p>第37回 どんな人?どんなもの?</p> <p>■withを使って、人の性格や特徴を言える</p> <p>第38回 人やものを詳しく説明しよう</p> <p>■名詞の前に語句を加えて、人やものについて詳しく説明できる</p>	<p>第6回 オンライン学習サポート動画 第6回レポート範囲 配信</p>	<p>年度末試験範囲</p> <p>試験範囲: 第1講座・第2講座・第3講座・第4講座</p> <p>▶各講座の要点のまとめ、確認問題、STEP問題、STEP UP問題を復習してください。</p> <p>▶レポートではなくテキストを復習してください。</p> <p>▶テキストと出題形式や英文等が異なる場合がありますが、テキストがしっかりと理解されていればできる問題です。</p> <p>▶リスニング問題は出題されません。</p>
2	<p>第6講座 一般動詞の過去形</p> <p>第6回 2/10 【リスニング】 be動詞の過去形</p>	<p>1 ・否定文の構造: 主語 + was/were + not + 補語 (例: He was not here.)。</p> <p>2 ・疑問文の構造: Was/Were + 主語 + 補語? (例: Were you at home yesterday?)。</p> <p>3 応答の練習: Yes, I was. / No, they weren't。</p> <p>4 ・過去の自分の感情や状況を説明する (例: I was tired yesterday.)。</p> <p>5 ・他人の過去の状況を尋ねる (例: Where were you last weekend?)。</p>	<p>第39回 お願いしてみよう</p> <p>■Will you...?を使って、何かをしてほしいと依頼できる</p> <p>第40回 「最高!」と伝えよう</p> <p>■<形容詞 + -est>を使って、感謝や満足な気持ちを伝えることができる</p>		
3		<p>㉓～㉔</p> <p><試験範囲の復習></p> <p>1 ・be動詞 (am, is, are / was, were) の使い方を理解し、肯定文、否定文、疑問文を作成する。</p> <p>2 ・一般動詞の現在形・過去形を理解し、疑問文や否定文を含む文を作成する。</p> <p>3 ・名詞の種類 (単数形・複数形) と使い方を理解する。</p> <p>4 ・主格・所有格・目的格の代名詞及び所有代名詞を適切に使えるようにする。</p> <p>5 ・疑問詞 (what, who, where, when, why, how) を使った疑問文を理解し、作成・応答できるようにする。</p>			